

# 取扱説明書



## 背負動力噴霧機

GS25EM

ご使用前に必ずお読みください。  
いつまでも大切に保管してください。

 ガソリンのみで使用しないでください。

使用燃料の混合方法はP10を参照してください。

このたびは、本製品をお買いあげいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、安全で快適な作業を行っていただくために、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき十分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮出来るようにこの冊子をご活用ください。

お読みになったあと必ず大切に保管し、本製品を末永く使用できますようにご活用ください。なお、より良い製品をご提供するために製品と本書の内容が一部異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

本製品についてお気づきの点がございましたら最寄りの取扱店、または当社営業所にお問い合わせください。

- 取扱説明書は大切に保管してください。
- 紛失した場合は最寄りの取扱店、または当社営業所にお問い合わせください。
- 本製品を改造することは、安全で快適な作業に支障をきたすだけでなく、大変危険ですのでおやめください。

## ■適用範囲について

本製品は、水田、畑、果樹園、牧場等における散布作業を目的とした製品です。「使用用途」に詳細記載) この使用目的範囲を逸脱しての使用が原因での事故、許可なく改造及び分解を行い、それに伴って生じた事故に関しては、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■注意事項について

この取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

- ⚠ 危険** …もし警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるもの。
- ⚠ 警告** …その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性があるもの。
- ⚠ 注意** …その警告に従わなかった場合、けがを負う可能性があるもの。
- ⚠ 注意** …その警告に従わなかった場合、機械の損傷の可能性があるもの。

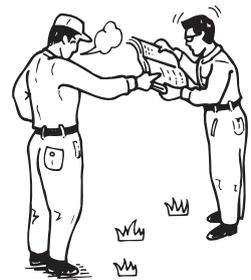
## ■機械を他人に貸すとき、運転させるとき

事前に運転の仕方を教え、機械に貼ってある**⚠**(安全注意マーク)印の付いている警告ラベルも一枚ずつ説明してあげてください。親切心が仇にならないように機械と一緒に取扱説明書、安全作業について、よく読んで理解し取扱方法を体得してから作業するように指導してください。

とくに禁止事項については念を入れて説明してください。

家族の方にも同じことです。

自分が使用するつもりで!



## ■国際単位について

本取扱説明書には、国際単位を表示しています。下記の換算数値を良く読んでご理解の上ご使用ください。

### 換 算 表

量	新計量法対応表示	換 算	従来の表示	備考
面 積	[m <sup>2</sup> ] (平方メートル)	10000[m <sup>2</sup> ] = 1 [ha] = 100[a] = 10反歩 = 3000坪	[a] (アール)、[ha] (ヘクタール) 坪、町歩、反歩	※①
回 転 速 度	[rpm] (回毎分) [min <sup>-1</sup> ] (毎分)	1 [min <sup>-1</sup> ] = 1 [rpm]	[rpm]	
力	[N] (ニュートン)	9.8 [N] = 1 [kgf]	[kgf] (重量キログラム)	
力のモーメント	[N・m] (ニュートンメートル)	9.8 [N・m] = 1 [kgf・m]	[kgf・m]	
圧 力	[Pa] (パスカル) [N/m <sup>2</sup> ] (ニュートン毎平方メートル)	0.98 [MPa] = 10 [kgf/cm <sup>2</sup> ] 9.8 [Pa] = 1 [mmH <sub>2</sub> O]	[kgf/cm <sup>2</sup> ] [mmH <sub>2</sub> O]	
効 率・動 力	[W] (ワット)	735.5 [W] = 1 [PS] 9.8 [W] = 1 [kgf・m/s]	[PS] [kgf・m/s]	

※注意事項

①土地面積については、[a]、[ha] を使用することがあります。

	ページ
1.  安全に作業するために	3
2. 各部のなまえと付属品	7
標準部品のご確認	7
3. 警告ラベルの取扱い	8
警告ラベル	8
4. 各部のはたらき、使い方	9
ノズルの組立	9
5. 始業点検	10
給油	10
薬剤の調合	10
6. 運転のしかた	11
エンジンの始動	11
運転	12
停止	12
7. 保守点検	13
散布作業後	13
シーズン毎の点検整備	13
8. 長期保管	14
ポンプ	14
水抜き	14
格納	14
9. 故障と対策	15
ポンプ・エンジン	15
10. サービスと保証について	16
アフターサービスについて	16
補修部品の供給年限について	16
11. 主要諸元	18
仕様	18

# 1. ⚠️安全に作業するために

■ご使用の前に本体に貼付されているラベルの注意書きを必ずご確認ください、お読みいただき安全で正しい取扱い方法を体得してください。

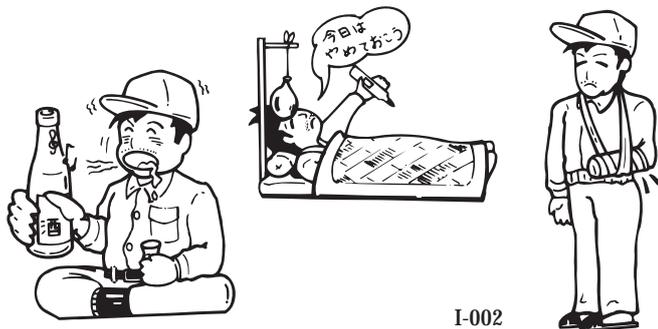
## 安全に関するご注意

ここに書かれていることはほんの一例です。「ヒヤリ」体験を起こさないためには、作業と危険はいつも隣り合せであることを忘れないでください。

## 安全のポイント

### こんな人は、散布作業してはいけません

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により正常な散布作業ができない人
- 酒気をおびた人
- 妊娠している人
- 散布作業以外



I-002

### 作業に適した服装をします

身体にあったものを着用する散布作業者



I-003

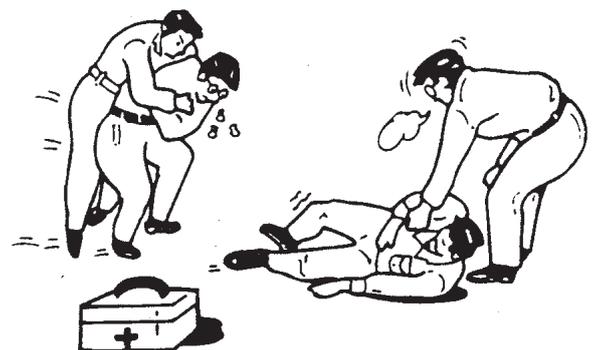
## ⚠️警告

保護具はつねに正常な機能を有する様、点検・整備を行い、正しく使用してください。

## 万一の場合の備えをしておきます

- 農薬の取扱い  
毒性の程度、応急手当法、解毒の方法を確かめておいてください。農薬は殺虫・殺菌を目的としているので無毒ではありません。低毒性といっても体調と被曝量によっては農薬中毒症状を起こしたり、事故を引き起こす原因となります。
- 緊急連絡の方法を確かめておいてください。
- 農業者のための労災保険などに加入しておいてください。

応急処置を知らないと！



I-005

## 作業の注意

### 薬剤の取り扱い

- ① 薬剤の取扱説明書はよく読んでください。  
使用する薬剤のラベルをよく読み、使用方法、使用上の注意をよく知っておいてください。
- ② 薬剤の被曝の恐れのない服装で取扱ってください。
- ③ 薬剤は必要な量だけ準備してください。
- ④ 散布する場所で調合・投入してください。  
風向き・環境汚染の恐れのないところで行ってください。
- ⑤ 機械・タンクなどにあらかじめ調合して運搬しないでください。こぼれると環境汚染につながります。
- ⑥ 飲み物や食べ物と同じ場所に保管したり運搬しないでください。運搬するときは袋が切れないように気をつけてください。
- ⑦ 薬剤は残らないように調合し、本機に投入してください。
- ⑧ 残った薬剤は、だれが見ても何であるか判別できる密閉した容器・袋に入れ、他のものと隔離して無用の人が取り出せないように保管してください。  
絶対に飲み物・食べ物の容器には保管しないでください。
- ⑨ 空き袋・空き缶・空き瓶は害のない方法で処理してください。
- ⑩ 散布器具や容器を洗浄した水、残りの薬剤は、下水、河川等に流さず、薬害のない方法で処理して

ください。

- ⑪ ハウス内で作業するときは、換気に十分注意してください。
- ⑫ 薬剤の取り扱いで万一目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。体調に異常を感じたら必要に応じて医師の診断も受けてください。

#### 注意

- 反当散布量や薬剤の種類をまちがえると薬害をおこします。
- 薬剤タンク内に薬液を入れて長時間放置しないでください。本機に支障を来たします。

### 作業は適した時期に行ないます。

- ① 風向きや圃場周囲の状況を考えて行ってください。風の強い時は、漂流飛散の恐れがあるので作業は避けてください。
- ② 作業は気温の高い時間帯を避けてください。
- ③ 身体の調子の悪い時は行わないでください。
- ④ 散布直後の圃場には入らないようにしてください。

### 作業準備(点検・整備・運搬)の注意

- ① 自動車などによる運搬時は機械が転倒しないような処置をしてください。
- ② 重量物を積み降ろしする場合は無理な体勢や単独作業はしないようにしてください。
- ③ 点検・整備・清掃は平坦な場所で行ってください。
- ④ 燃料の補給はエンジンが冷えてから行いタバコなどの火気を近づけないでください。燃料タンクのフタは確実に締め、こぼれた燃料はきれいに拭きとってください。
- ⑤ 各部のボルト・ナットのゆるみ、損傷はないか確

認してください。

- ⑥ 点検・整備などで外した回転部などのカバーは、すべて正しく取り付けてください。
- ⑦ エンジンを始動するときは、可燃物の近くや換気の悪いところ、狭いところでは行なわないでください。
- ⑧ 電気配線のコネクタは確実に接続し、運転中配線がこすれないように処置してください。
- ⑨ 電気配線には、油、水、火気は厳禁です。

### 作業中の注意

- ① 通常の作業では、健康のためにも2時間を越えて連続作業をしないようにしてください。
- ② 薬剤を入れた作業機は重量物です。  
圃場を整備すると共に不安定・無理な作業は避けてください。
- ③ 服装、圃場の条件、風向きに注意して農薬の被曝・環境汚染に注意してください。
- ④ 作業中は無用な人は近づけないようにしてください。

- ⑤ 薬剤タンクのフタは、パッキンを確かめて、薬液が吹き出さないように確実にしめてください。
- ⑥ 薬液の吐出するノズルの先は人に向けしないでください。
- ⑦ 休憩や食事をするときは、うがいをして、石けんで手や顔を洗ってください。
- ⑧ 体調に異常を感じたら、直ちに医師の診断を受けてください。

## 本機の手扱注意

### 使用用途

●この製品は次のような作業にご使用頂けます。またそれ以外でのご使用は避けてください。

- ①水田作物の病害虫に対する薬液散布。
- ②一般畑作物の病害虫に対する薬液散布。
- ③果樹一般の病害虫に対する薬液散布。
- ④ハウス栽培作物の病害虫に対する薬液散布。
- ⑤花栽培作物の病害虫に対する薬液散布。
- ⑥牧舎・鶏舎等への消毒液・殺虫液の散布。
- ⑦庭木・盆栽・芝生の病害虫に対する薬液散布及び散水。
- ⑧都市衛生用消毒液・殺虫液の散布。
- ⑨公園等の花壇・街路樹の病害虫に対する薬液散布。
- ⑩雑草防除に対する除草剤の散布。
- ⑪野菜・根菜の洗浄及び散水。

### 作業後の注意

- ①薬剤タンク内や噴霧ホース内、ノズルなどは清水できれいに洗ってください。
- ②作業機の故障箇所は整備してください。
- ③スイッチのあるものはスイッチをOFFにしてください。
- ④保管するときは、燃料は抜いてください。
- ⑤作業後はすぐにうがいをして、良く体を洗ってください。
- ⑥作業に使った保護具も十分に清掃し、着衣も洗濯してください。

### ご使用後の注意

- 使用する薬剤は、薬剤タンク内に残さないように散布してください。散布計画を立て必要量だけ調合してください。
- 薬剤タンクに残った薬剤は、きれいに取り去り、元の容器に入れて幼児の手のとどかない所に保管してください。機械についた薬剤などもきれいに取り去ってください。錆の発生や故障の原因になります。
- 損傷箇所のある場合は、修理してから格納してください。この場合、部品、消耗品はすべて当社指定の純正部品をご使用ください。
- 保管は湿気の少ない場所に、チリやゴミが付着しないようにしてください。
- 火災防止のため、混合燃料は全て抜き取って金属缶に保管してください。また燃料タンク内に混合燃料を入れたままにしていると、樹脂タンクの成分が溶け出し、エンジンに悪影響を与え、故障の原因となります。

## 混合燃料について

混合燃料は引火しやすいので、火災防止のため、次の事項を守ってください。

- ⚠ 危険** 混合燃料の補給や本機の手入れをする時は火気を近づけないでください。
- 混合燃料の補給は必ずエンジンを停止し、冷えてから、行ってください。こぼした時は拭き取ってください。
- 燃料を補給した地点から5m以上離れた地点で始動してください。
- 環境汚染や機械の故障を防ぐために2サイクルオイルの混合比を守ってください。

(ガソリン) : (ケムナイト)

(ガソリン) : (2サイクルオイル)

ケムナイト使用のとき

100 : 1

一般2サイクルオイル使用のとき

25 : 1

## エンジンについて

- ⚠ 警告** ● 室内では運転しないでください、一酸化炭素中毒になります。
- ⚠ 警告** ● リコイルの分解は危険です。分解しないでください。修理については販売店に依頼してください。
- ⚠ 注意** ● エンジンは運転中、停止直後は高温です。マフラー、シリンダーフィンなどに手を触れるとヤケドします。
- 注意** ● 始動ロープは最後まで、引ききらないでください。故障の原因となることがあります。
- エンジン始動のとき、突然の噴霧による被爆を防ぐために、ボールコックが確実に閉じていることを確認します。
- エンジンの運転中、点火プラグにはさわらないでください。感電する恐れがあります。
- エンジンの排気ガスは吸わないように注意してください。

## ポンプについて

- ノズルから吐出する薬液は高圧です。人に向かって噴霧しないでください。

### **⚠ 警告**

- 火災の恐れがありますので引火性の強い薬剤は使用しないで下さい。

## 2.各部のなまえと付属品

### 標準部品のご確認

梱包箱を開けたら、まず付属品が揃っているかどうか、確認してください。万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い求めの販売店にお申し出ください。

### 付属品



取扱説明書



保証書



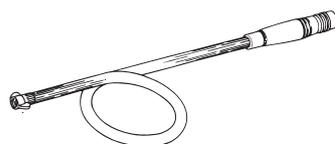
ボールコック



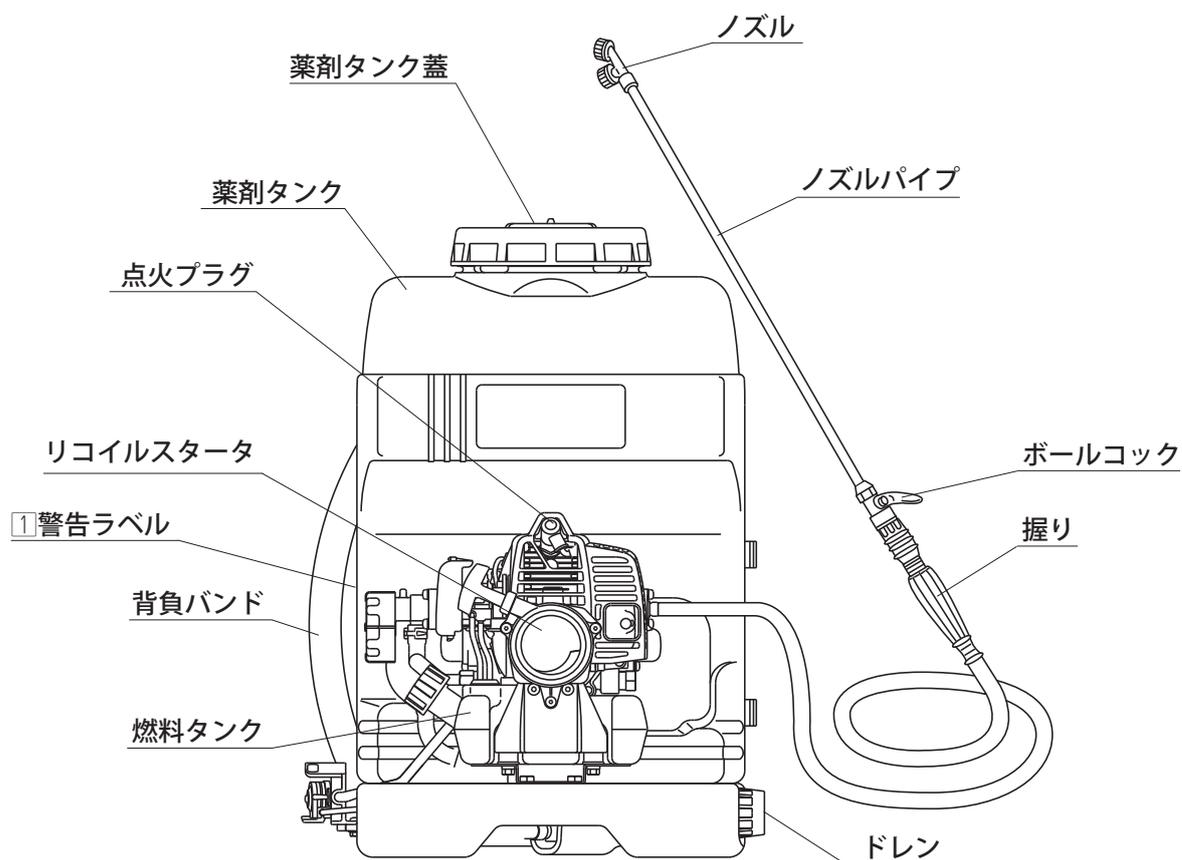
ノズル



ノズルパイプ



噴霧ホースマトメ



※本機には次の警告ラベルが貼ってあります。よくお読みになって理解したうえで作業してください。

**⚠ 注意**

- いつも汚れや泥をとり、表示内容がハッキリと見えるようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したときは、新しい物と交換してください。
- 警告ラベルを貼ってある部品を交換した時は、必ず新しい警告ラベルを取外した部品と同じ場所に貼ってください。

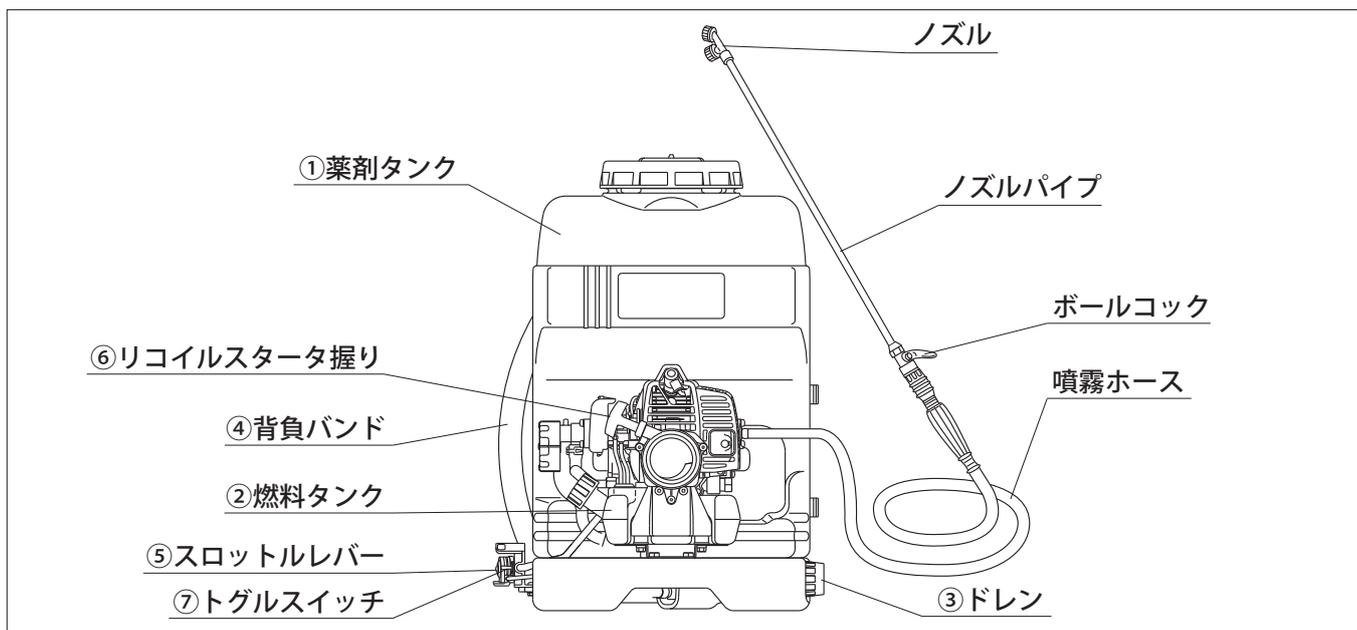
## 警告ラベル

①薬剤タンク

 <b>危険</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン運転中や停止直後は、絶対に給油しないこと。引火し火災の恐れがあります。</li> </ul>
 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排気ガスは人体に有害です。室内での作業は換気してください。</li> <li>・リコイルスタータの分解はしないでください。けがをする恐れがあります。</li> </ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転前に必ず、取扱説明書を読んで、よく理解してから運転してください。</li> <li>・フタは確実にしめること。薬剤が吹き出しあびる恐れがあります。</li> <li>・運転中の点火プラグやコードは、触れないこと。感電する恐れがあります。</li> <li>・運転中や停止直後エンジンシリンダに触れないこと。高温の為火傷します。</li> </ul>

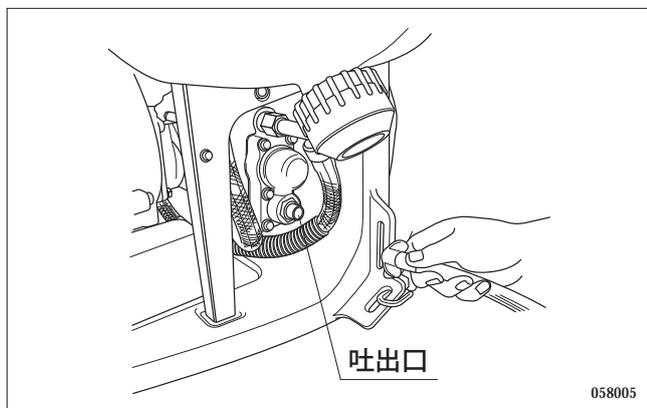
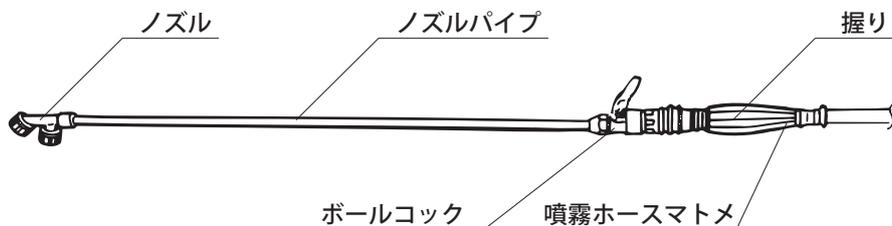
P/N122931

# 4.各部のはたらき、使い方



- ①薬剤タンク ……薬剤が約25L入ります。  
 ②燃料タンク ……混合燃料が約0.9L入ります。  
 ③ドレン ……薬剤をここから抜きます。  
 ④背負バンド ……バンドを引くと体に合せて長さが調整できます。  
 ⑤スロットルレバー…上にあげるとエンジンの回転が上がります。  
 ⑥リコイルスタータ握り…引くとエンジンが始動します。  
 ⑦トグルスイッチ …ON側でエンジンがかかり、OFF側でエンジンが止まります。

## ノズルの組立



ノズル、ノズルパイプ、コック、ホースの順にパッキンが付いていることを確認して、水漏れがないよう、確実にネジを締めてください。但し、あまり強く締めすぎるとパッキンがはみ出したり、破れたりするので注意してください。  
 ホースの反対側は噴霧機の吐出口に接続します。

- その日の作業を始める前に行う点検が始業点検です。始業点検を毎回行うことによって、事故あるいは故障などを未然に防止することができます。
- 非常に大切な点検ですので、必ず実施してください。
- 本機はそのまま付属品を装着するだけで噴霧機として使用できるようになっています。
- 各部ネジにゆるみがないか点検します。

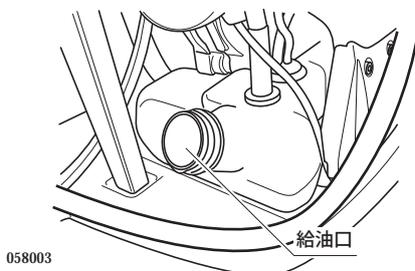
### ⚠ 注意

- ネジがゆるんでいると事故につながります。
- 燃料ホース・電気配線に異常がないか点検します。また、燃料ホース・電気配線については定期的に整備・交換してください。
- 背負いバンドの長さを自分の体形に合わせ、調節します。
- 警告ラベルが本体からはがれた場合は購入して貼付してください。

始業点検を行う際、必ず薬剤タンクに清水を入れ、運転を行ってください。

### 給油

- 必ず混合燃料を使用します。混合燃料を給油口に注ぎます。オイルは2サイクル専用オイルを使用します。



※丸山エンジンにはケムナイトのご使用をお奨めします。環境にやさしく、快適な作業ができます。

ガソリン	：	ケムナイト
100	：	1

ガソリン	：	専用オイル
25	：	1

### ⚠ 危険

混合燃料は引火し、火災を起こす恐れがあります。下記の項目を必ず守ってください。

- 給油する時はエンジンを停止し、たばこ等の火気を近づけないでください。
- 混合燃料をこぼさないようにしてください。こぼした時は、すぐにきれいに拭き取り、乾かしてから始動してください。
- 混合燃料を基準線以上入れないでください。漏れるおそれがあります。
- 燃料もれがある場合は、修理してから使用してください。
- 給油後、燃料タンクのフタは確実に締めてください。

### 注意

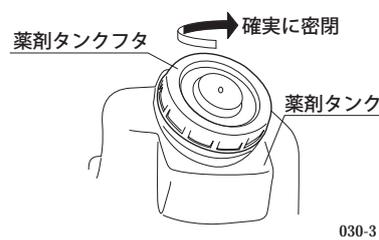
- ガソリンだけで運転しますとエンジンが焼付きます。必ず2サイクル専用オイルを規定量混合してください。
- 混合比は使用する2サイクル専用オイルの指定比率に従ってください。
- ガソリンは自動車用無鉛ガソリンを使用してください。

### 薬剤の調合

- 使用する薬剤の説明書をよく読み、調合方法使用上の注意に従ってください。

### ⚠ 注意

- 薬剤の取扱いには十分注意し、必ず薬剤の取扱説明書をよく読んでください。
- 薬剤の処方基準を越えた濃度で使用しますと本機の消耗を早めます。特に水和剤についてはご注意ください。



薬剤タンクフタのパッキンを確認し、確実に密閉します。本機を背負ったとき、薬液がこぼれ、あびる原因となります。

## エンジンの始動

**▲ 注意** ボールコックは閉の位置にします。

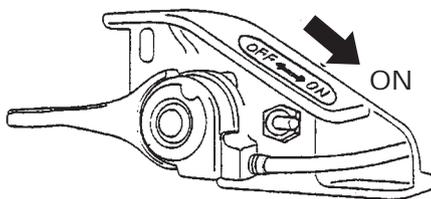
**注意**

エンジンを始動する時は、必ず薬剤タンクに水または薬剤を入れます。

**▲ 注意** 始動ロープの引きかた

1. 始動ロープを右手で確実に握ります。
2. 左手で薬剤タンクを押えます。
3. 始動ロープはロープの緑色の目印線まで引きます。
4. 始動ロープは最後までは、引ききらないでください。故障の原因となることがあります。

**1** トグルスイッチをONにしてください。



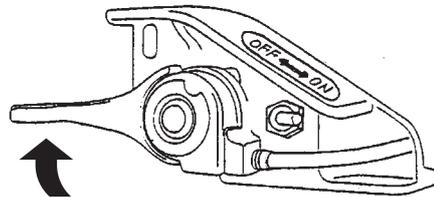
**2** プライミング操作を行います。キャブレターの下に付いているプライミングポンプをゆっくり数回押してプライミングポンプ内に混合燃料が充満し、タンクに戻るのを確認します。



**3** チョークを全閉にします。(酷暑時またはエンジンが暖まっている時は、半開または全開とします。)

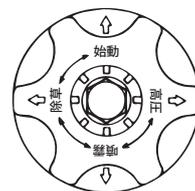


**4** スロットルレバーを中速位置にします。



058004

**5** 調圧弁ハンドルを「始動」の位置にします。



**6** 始動ロープを引いてください。始動ロープを引くとロープに緑色の目印線が出てきます。その後始動ロープを戻し始めると、そのことをスタータが感知してエンジン始動が始まります。強く引いたり、早く引いたりする必要はありません。ロープの目印までスムーズに引き、スムーズに戻してください。始動ロープを戻したとき、ロープが引き込まれずたるんでしまった場合や、引き始めから引き力が大きく感じるときは、5~10cmほど強めに始動ロープを引くと正常に戻ります。

**▲ 注意**

繰り返しても始動しない場合は、チョークを全開にしてから始動ロープを引いて始動します。

※それでも始動しない場合15ページを参照してください。

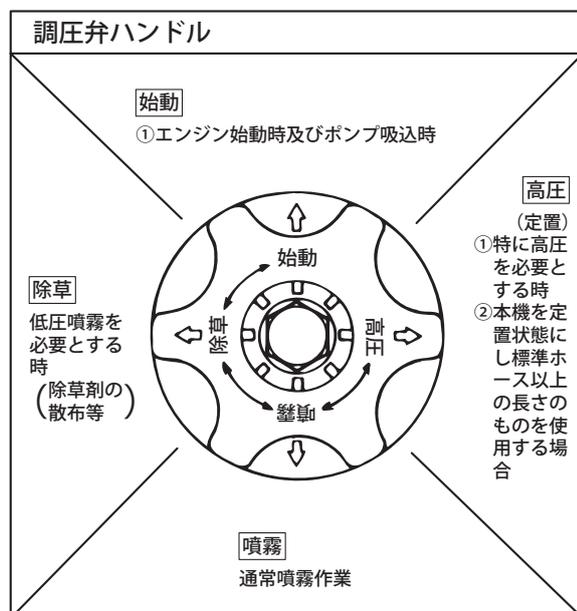
**7** チョークを徐々に戻します。



073111 チョークレバー開く

## 運転

- 1 エンジンを始動し、回転を上げます。
- 2 調圧弁ハンドルを回して、除草、噴霧、高圧、(定置)と作業条件にあった圧力の設定をします。
- 3 霧の状態、機械の異常の有無を確かめたうえで、スロットルレバーを高速位置にします。



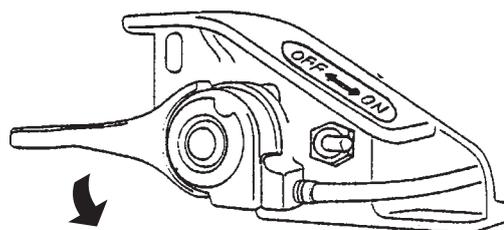
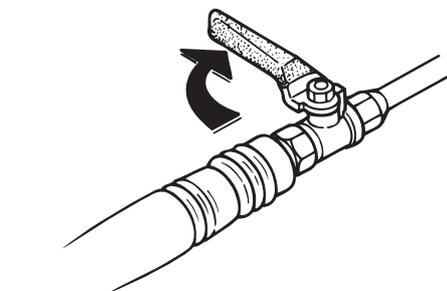
### 注意

- 調圧弁ハンドル「高圧」の位置でスロットル全開のまま調圧弁ハンドルを「噴霧」「除草」としますと、圧力が低くなった分エンジンの回転が高くなりすぎますので、「噴霧」「除草」の位置で使用する場合はスロットル全開より若干戻した位置で使用してください。
- 空運転は水抜き以外しないでください。ピストンパッキンが損傷します。

- 4 ボールコックを開くと薬液がノズルより霧になってでます。

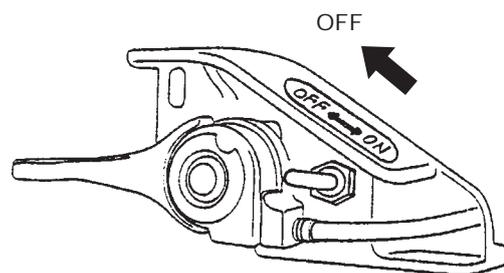
## 停止

- 1 ボールコックを閉じます。
- 2 スロットルレバーを低速に戻します。



058004

- 3 トグルスイッチをOFFにしてエンジンを停止します。



058004

# 7.保守点検

## 清掃と整備と水抜き

### 散布作業後

#### 警告

- 残った薬剤は、自分のほ場で薬害のないように処理してください。
- 使用後の機械は十分洗浄します。薬剤タンクを洗浄した廃液は、安全な場所に処理するようにしてください。
- 空容器は安全な場所に破棄してください。

#### (1) 薬剤タンク内を洗浄します。

- ①タンク内に薬剤が残っていた場合は、ドレンキャップを外し、排水します。この時、残液を受ける容器を排水口の下に予め置きます。
- ②タンク内を清水できれいに洗い流します。
- ③ストレーナを洗浄します。
- ④薬剤タンク内に約1L清水を入れます。
- ⑤ポンプを回し、散布の要領でノズルから霧を出します。液がなくなるまで散布します。

#### (2) 燃料タンクから燃料をぬきます。プライミング操作し、キャブ内の燃料もぬきます。

#### 注意

- 燃料タンク内に混合燃料を入れたままにしていると、樹脂タンクの成分が溶け出しエンジンに悪影響を与え故障の原因となります。

#### (3) 本機の掃除

#### 注意

- 電装品には水をかけないようにしてください。特に高圧による洗浄液は、直接かけないようにしてください。故障の原因となります。
- エンジンに水をかけないようにください。エンジンが急冷され故障の原因となります。

- ①清水できれいに洗浄します。
  - ②使用した容器を洗浄します。
  - ③シートをかける時は、本機が乾いてから行います。ぬれてしまうと腐食の原因となります。
- (4) 保護具を洗浄します。
- (5) 衣類を脱ぎ、全身を洗います。
- (6) 薬剤を保管庫に戻し、鍵をかけて保管します。農薬使用日誌をつけます。

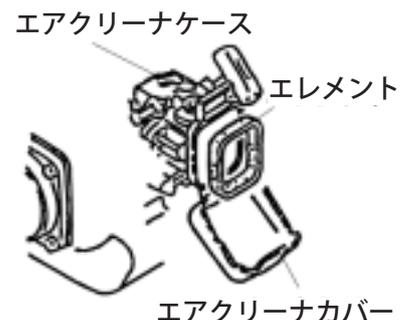
清掃・点検及び整備の時は必ず本機を停止してください。

### シーズン毎の点検整備

#### エアクリーナ清掃

- エレメントが汚れ目づまり状態になりますと、出力低下や始動困難になります。エレメントは時々掃除し、汚れを落とし目づまりを防いでください。
- エレメントを掃除する時は、ガソリンで洗い、使用している混合燃料に浸し固く絞ってから取付けてください。

## 1 分解

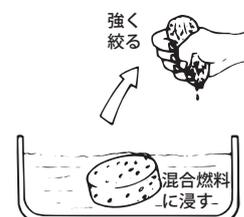


## 2 洗浄



K4-47

## 3 絞る



K4-48

## ポンプ

ピストンパッキン、シールパッキンは摩耗状態を調べ、摩耗しているものは交換します。

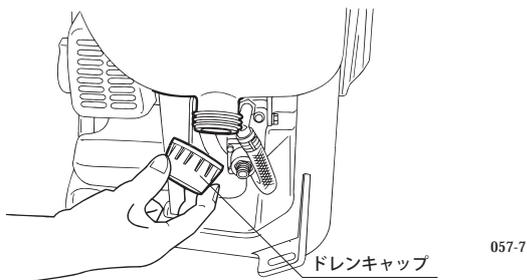
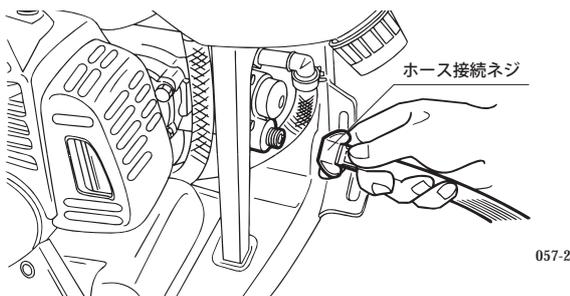
※分解整備はお求め先、または取扱店にご相談してください。

## 水抜き

### 注意

水抜きは必ず行ってください。冬期凍結によりポンプを破損することがあります。

- ①薬剤タンクのドレンキャップと、ポンプのホース接続ネジをはずし、残液を排出します。
- ②ホース接続ネジを取りつけて薬剤タンクに清水を入れエンジンを始動してノズルより噴霧させ、ポンプやホース内を洗浄します。
- ③スロットルレバーを全開より若干戻した位置で15～20秒運転し残液を抜きます。
- ④スロットルレバーを低速にしてトグルスイッチをOFFにしてエンジンを止めます。



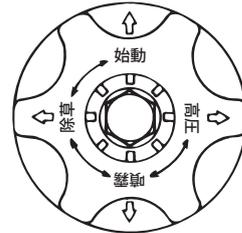
### 注意

冬期には薬剤タンク、ポンプ内に薬剤を入れたままにはしないでください。破損の原因となります。

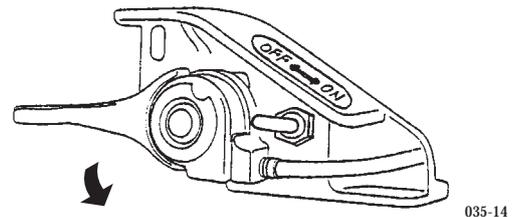
## 格納

- 1 燃料タンクの混合燃料を抜き、アイドリングでエンジンが自然に止まるまで運転します。

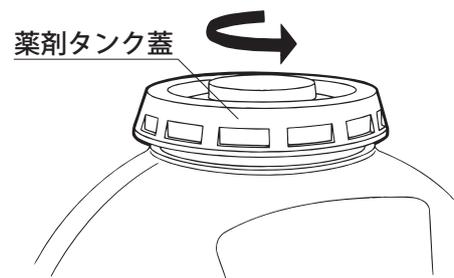
- 2 調圧弁ハンドルを「始動」の位置にします。



- 3 スロットルレバーを低速の位置にします。



- 4 薬剤タンク蓋はゆるめておきます。



- 5 以上のことを済ませたら、箱などに入れ、湿気の少ない風通しのよい場所に保管します。

### 注意

- 損傷個所のある場合は、修理してから格納してください。この場合、部品、消耗品はすべて、当社指定の純正部品をご使用ください。
- 保管は湿気の少ない場所でチリやゴミが付着しないようにしてください。

- ポンプ、エンジンの調子が悪い場合は次の内容が考えられます。
- ☆印については販売店、または当社営業所に調整、修理を依頼してください。



**警告**  
リコイルの分解は危険です。分解はしないでください。修理については販売店に依頼してください。

## ポンプ

現象	原因	処置	
吸水しない。	(1)吸水ホースの接続部のゆるみ。 (2)吸水ホースが薬剤でつまる。 (3)ピストンパッキンの摩耗。 (4)弁部に異物。	(1)充分締付ける。 (2)分解掃除。 (3)新品と交換。 (4)分解掃除。	☆ ☆ ☆
圧力が上がらない。 (噴霧状態が悪い)	(1)ピストンパッキンの摩耗。 (2)シリンダ内面にキズ。 (3)吐出弁にキズ。 (4)調圧弁座の摩耗。 (5)各弁部に異物。 (6)カムハンドルの摩耗。 (7)ノズル穴の摩耗。 (8)ノズル使用数の過多。	(1)新品と交換。 (2)新品と交換。 (3)新品と交換。 (4)新品と交換。 (5)分解掃除。 (6)新品と交換。 (7)新品と交換。 (8)ノズル数を少なくするか穴径の小さいノズルに交換する。	☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

## エンジン

現象	原因	処置	
始動しない	●混合燃料切れ ●燃料フィルタ目づまり ●始動操作ミス ●点火プラグ不良 ●マグネトー不良 ●キャブレタ不良	●混合燃料補給 ●清掃 ●エンジンの始動の項参照 ●交換 ●交換 ●交換	☆ ☆ ☆
出力不足	●スロットルワイヤ調節不良 ●エアクリーナエレメント目づまり ●排気ポート、マフラにカーボン堆積	●調節 ●清掃 ●清掃	☆ ☆
振動が大きくなる	●各部のゆるみ	●増締	
排気音が大きくなる	●マフラ及びマフラカバーのゆるみ	●増締	

### アフターサービスについて

- 始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、すぐに適切な整備をしてください。お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 連絡していただく内容
  - 機種名
  - 製造番号
  - 故障内容なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話しください。
- 本製品を安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。年に一度は、お買い上げの販売店に、点検整備をお願いしてください。この時の整備は有料となります。

### 補修部品の供給年限について

本製品の補修用部品の供給年限は、本製品の製造を打ちきり後9年です。但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

#### 機体廃棄時のお願い

本機を廃棄する場合は、最寄りの取扱店又は当社の営業所にお問い合わせください。



仕様 ●この仕様は予告なしに変更することがあります。

		GS25EM仕様
機体寸法	機 高 ( mm )	430
	機 幅 ( mm )	440
	機 長 ( mm )	605
乾 燥 質 量 ( kg )		9.1
噴霧機	形 式	水平対向ユニフロー式
	吸 水 量 ( ℓ / min )	7.1
	回 転 数 min <sup>-1</sup> ( rpm )	1930
	圧 力 MPa ( kgf / cm <sup>2</sup> )	2.5 (25)
薬 剤 タ ン ク 容 量 ( ℓ )		25
エ ン ジ ン	型 式	BE230
	形 式	強制空冷2サイクル
	排 気 量 ( ml )	22.5
	連続定格出力 kw/min <sup>-1</sup> (PS/rpm)	0.66/7000 (0.90/7000)
	燃 料	ケムナイト(100:1)混合ガソリン(25:1)
	点 火 方 式	電子点火
	点 火 プ ラ グ	NGK BPM6Y
始 動 方 式		リコイルスタータ (マジックスタート)
付 属 品	噴霧ホースマトメ (122994)	φ7.5×1.3mm
	ボールコック (105891)	1
	ノズルパイプ (124042)	1
	ワイドノズル (103169)	1
	取扱説明書 (124440)	1
	保証書 (122650)	1



株式会社 **丸山製作所**

東京都千代田区内神田3-4-15 TEL03 (3252) 2288



古紙配合率100%再生紙を使用しています

この取扱説明書の部品番号は124440

P/N. 124440-01 05.01 TAP/M